

前立腺癌に対する ロボット手術始動

■「ダビンチ」を用いたロボット手術の導入

前立腺癌の罹患者数が急速に増加していることをご存じですか？前立腺癌は男性癌のトップで、高齢になるにつれて罹患者率が高くなります。高齢がリスクを高める要因として明らかになっており、この急速な増加は日本社会の超高齢化が一因と考えられています。

前立腺癌の治療法は、病期に応じて監視療法、手術療法、放射線療法、内分泌療法、化学療法など多岐に渡り、当院では放射線治療である「サイバーナイフ」を用いた治療を受けられることが特徴です。そして、この度新たに

2023年4月から「ダビンチ」を用いたロボット手術を開始しました。

■ロボット手術とは

ロボット手術とは、「ダビンチ」を利用して行う腹腔鏡手術のことです。ロボットの操作は、専門の訓練を受けた医師が行います。ダビンチには、突発的な動きを制御する機能や手ぶれ

MEDICAL
HOTLINE

診療
ホット
ライン

新規医療機器を導入！

防止機能など高精度な機能が備わっており、より安全・確実に手術を行えます。

また、ロボット手術は従来の開腹手術に比べて、手術創が小さい、出血量が少ない、術後の痛みを軽減、合併症リスクの回避、入院期間の短縮が図られるなど患者さんにとってさまざまなメリットがあります。

従来の治療方法と併せ、新たに導入したダビンチを駆使し、今後も患者さん一人ひとりにあった最適な治療を目指していきます。

1 担当医はサージョン
コンソールと呼ばれる
機械に座り、遠隔操作
で手術を行います。



泌尿器科
主任診療部長 渡辺 淳一

▼ダビンチによる手術のイメージ

